

あくね



2月

No.252

郵便年金に特別措置

昭和二十二年十二月三十一日以前の加入者

郵便年金というのは、掛金を一時にまとめて、あるいは分割して払い込んでおき、その種類によって、一生の期間、あるいは一定の期間年金を取れるというしくみのものです。

老後の生活の備えや学資金の用意などに利用されています。

この年金は簡易保険より十年遅れて、大正十五年十月に始められ、こととして四十二年を迎えるという長い歴史を持っています。

現在全国に加入者約百万件で、いままでの積立金は約二百二十億あり、簡易保険の積立金一兆五千億とともに社会公共のめだに使われ、間接的に加入者および一般の役に立っています。

ところが戦前戦後もない時期に加入した年金契約は、社会経済の変動とともに、加入者の期待にそえないようになってきました。

別付加金をつけるようになり、全国の郵便局で、その取り扱いが開始されています。

対象となる契約
特別措置の内容はつぎのとおりとなっています。

対象となる契約は、昭和二十二年十二月三十一日以前に加入されたかた。

取り扱い期間は、昭和四十三年一月から向う二年間、全国の郵便局で取り扱います。

特別一時金

申し出のあった加入者に特別一時金を支払って、この契約を消滅させることとなります。

特別一時金の額は

交通事故にあつたら

もしも交通事故にあつたらひかれ損にならないよう、これだけは覚えておいてください。

車両番号を覚えておく、目撃者をさがす、警察に届ける、警察で事故証明をもらう、診断書をもつ、損害でかかった出費は全部領収書をもって

年金繰りあげ支払金
将来支払う見込みの年金を一時に繰りあげることです。

具体的にいうと、終身年金については、年金受け取り人の平均余命の年数により計算し、定期年金については、残りの年金支払期間分の年金相当額ということとなります。

(1) 分配金の繰りあげ支払金
(定期年金にかぎる)
定期年金について定められた剰余金の分配額を繰りあげて支払うものであります。

(2) 特別付加金の合計
加入年数、年金額によつてちがいますが、最低千八百円から六千七百円で平均二千五百円であります。

支払請求手続は
近くの郵便局へ

昭和二十二年以前の郵便年金契約の加入者で、この

おと、また加害者が示談に来たら、被害者が被扶養者でも権利がある。最近では自殺でもない限り、被害者の過失はあまり問題にされない。示談は保険額の最低額から出発することが多い。

できれば交通相談所、法務局、市役所、新聞社などの公的機関に相談しましょう。

特別措置の希望者は、近くの郵便局に申し出て、特別一時金の支払請求の手続をすることになっています。

この二年間の取り扱い期間中に申し出のなかった契約については、従来のまま有効に継続することになります。

なおこの特別措置を受けた後でも、もとの契約期間中は、簡易保険、郵便年金の加入者福祉施設である、加入者ホームや保養センターなどを従来どおり利用することが出来ます。

国民年金

追納制度の利用を

いままでも国民年金保険料の免除を受けたことのあるかたがたに、追納制度をおすすめします。

何年か前は生活が苦しくて、保険料を免除してもらったが、今は納めることができる状態になったとか、今は免除してもらっているが、何年か先には、保険料を納めることができる状態になる人がたくさんいます。

追納制度というのは、このような人のためにできた制度で、前に免除してもらっていた期間分については希望があれば保険料を納めて、年をとってからもらう年金を少しでも多くもらえるようにすることです。

成人病

脳卒中、がん、心臓病

この三つの病気が、現在日本人の死因の第一位、二位、三位にあります。

そして、これらの病気は、どれも四十歳ごろから急に多くなるので、成人病と総称されています。

成人病はいずれも、病気の成因に不明の点が多く、そのため原因となる根源をたち切つて病気の発生を防止することがまだ解決されていません。

したがって、このように不明の問題を多く残している病気の予防は、早期に発見して病気が重くなることを防ぐ、いわば改善の予防が重要になります。

従来は、成人病の診療は大変むずかしく、高度の設備のある病院で人間ドック式に検査することしか健康診断の道はありませんでした。

しかし、今や成人病の予防は、個人の問題でなく、地域社会の問題にまで発展してきました。

そして、地域ごとに住民の集団検診と健康管理の方法がとり入れられて

います。

国としては昭和四十一年度から、胃の集団検診事業に対して補助を行なつて、集団検診の促進をはかっています。

この結果、百万人の人が胃の健康診断を受けました。

さらに今年度は、子宮がんの集団検診についても補助をはじめました。



脳卒中、心臓病の予防のために、高血圧検診が行なわれていますが、これには昭和四十一年度中に全国で五百五十万人の方が受診しています。

早期発見と早期治療によつて、成人病の管理が着々と進められているのです。

これを公衆衛生の軌道にのせることによつて、成人病からわたくしたちの健康管理を守る新しい道が開かれるのです。

永年勤続者など表彰

昭和43年度 消防出初式



(表彰式 阿久根漁協市場)

恒例の昭和四十三年度阿久根市消防出初式は一月七日行なわれました。

当日は好天に恵まれ、阿中グラウンドで観閲、機械器具服装点検、ポンプ操法救急車救護訓練などをすませ、市内目抜通りをパレードのあと、高松川河港で三〇台のポンプの放水練習を行ないました。

当日現場活動者など特別表彰などつぎのかたがたが表彰されました。

- ◆消防退職報償銀杯伝達者 古川善三・梶新治・盛永陽美・盛永鉄男・米次政人・深瀬修
- ◆両児島興消防協会出水支部長表彰 脇岡実雄・川畑武利・田上実・横崎通・石只悟・大

ことしの立春は五日、暦のうえでは春がきても、まだまだ寒さはきびしく冷たい北西風が吹きあれます。かせなどにとりつかれないよう、冬の終わりのこの月を元気で通しましょう。

各家庭では出費が多く、収入が少ない月でもありません。家事、作業など手ぎわよく始末し、むだのないようにいたしましょう。



冬物の中間手入れ 冬の季節も終わりに近づくのと、オーバーや背広など

は、ほこりを吸いこんでつやがなく、なんとなく、くたびれた感じがします。こんなとき、家庭でもできる簡易クリーニングをする、見違えるほどきれいになります。

つきに、えりもと、そで口などのよごれやしみをベアンデンでふきとり、全体をアンモニア液をふくませた布で手早くふきとり、アイロンなどでふきとります。

月末から春の火災予防運動が始まります。この季節は、とくに火事が多いようです。空気が乾燥し、強い風が吹き、火災発生の危険がいっぱいです。

漁等

◆永年勤続者

- 鶴崎一男・神之田月教・松永義・青龍末弘・前田勝男・若松義行・黒崎豊・本俊治・上瀬行夫・児玉末広

◆自治体消防発足二〇周年記念章贈呈者

- 岩切卓哉・折橋敏・渡崎通・中野正昭・高津福市・富浜勝・石沢昭二・江浜誠二・野崎鉄栄・野崎良郎・浦島盛太・富浜操・野崎達雄・大塚重信・油田豊・新町忠男・中村正平・船元謙一・石沢正助・浅野一男

◆消防協会総裁表彰

- 米次清通・中原実雄
- ◆勲二〇年 新町忠男・神之田栄治・富浜勝
- ◆退団者特別功績章 松尾直義・渡崎正美
- ◆現場活動特別表彰 櫻比栄・柏木靖則
- ◆退団者感謝状

歳末助け合い 収支報告

歳末助け合いありがとうございました。ここにその収支結果をご報告申し上げます。

- ◆収入
- 一般助け合い募金 一五一、六五〇円
- 特別募金 二二四、三八四円
- 市補助金 一五、〇〇〇円
- ◆支出
- 総代 二〇七、二〇〇円
- 児童たすけ合い 四〇、〇〇〇円
- 療養所見舞金 二六、五〇〇円
- 老人ホーム見舞金 一〇、〇〇〇円
- 指宿療養所見舞金 一一、五〇〇円
- 日赤鶴江病児見舞金 五〇〇円
- 加治木療養所見舞金 一、五〇〇円
- 船佐療養所見舞金五〇〇円
- ボイスレスカウト活動費 四、〇〇〇円
- 新聞少年活動会費 三〇、〇〇〇円
- 事務費 二二、二六一円
- 社協たすけあい費 四五、〇七三円
- 以上のとおりですが、そのほか特志寄付金として、

集団中毒・ペスト・赤痢などの媒介者



ネズミの行動範囲は広く隣近所話合って同時に駆除をしよう。

要知津島市藤里町 山栄毛織K・K 榎 季子 五、〇〇〇円

大川川下 川畑次美 二、〇〇〇円

市内局 出張スミ 二、〇〇〇円

市内局 谷口カツ子 五、〇〇〇円

市内局

保育所入所受付

ただいま、昭和四十三年度の保育所、児童館の園児の入所申請を受け付けています。

ご希望のかたは早めに市福祉事務所に申し込みください。

市立協本保育所(二〇名)

大川保育所(六〇名)

折多保育所(六〇名)

いであって、申告してください。

当日持参するものは、印鑑、家族の氏名、生年月日、証明書、領収証、源泉徴収票などです。

計量器定期検査

「はかり」の定期検査が

つきのように実施されます

定期検査を受けないと処罰されます。

2月12日 大川出張所

大川地区、本之牟礼

2月12日 牛之浜公民館

牛之浜地区

2月15日 西目小学校

西目校区一円

2月14日 三笠支所

鶴本地区、折多地区全域

2月15日 市民会館

上野、浜町、本町、赤瀬

川地区、鶴川内田代地区

山下地区

2月16日 市民会館

新町、波留、真松、倉津

遠見ヶ丘

2月17日 市民会館

大丸、堀

市の奨学生を募集

当市に住んでおられるか

たの子どもさんで、高等学

校、大学これに準ずる程度

の試験場研究室に在学し、

将来社会に貢献できると認

められたかたは、市の奨学

金を借ることが出来ます。

市の教育委員会に諸用紙

が準備してありますので、

お知らせ

戸籍手料を改正

一月一日から戸籍手数料

がつかのとおり改正になり

ました。(カッコ内は旧料

金)

●戸籍謄本

一枚につき五〇

円(四〇円)

●戸籍簿閲覧

一百籍につき

五〇円(一回に

つき四〇円)

贈与税

贈与税は被相続人となる

べき人が、その財産を生前

に贈与されると相続税が回

避されることになるのでこ

れを防止するためにもうけ

られた税金です。

贈与税の納税義務者は個

人から贈与によって財産を

取得した個人です。

税金は原則としてその年

内に贈与によって取得した

財産の価額の合計額から四

〇万円(婚姻期間が二五年

お忘れなく

2月18日

申告忘れな

い

2月18日

3月15日

3月15日



読書感想文表彰

昭和42年度読書感想文表彰式が1月21日図書館で行なわれました。(市長賞)西目小 しんはしまさと(議長賞)三笠中2年 早水 和子(名誉市民賞)脇小6年 永井 好美(教育長賞)阿中1年 高城 洋一



成人式

恒例の成人式が1月15日市民会館で行なわれました。それにちなんで、成人者懸賞論文入賞者の表彰も行なわれました1席 谷口カツ子(落) 2席 青野郁子(上野) 2席 川畑次美(川畑) 3席 八丸通政(上野) 3席 湖上実良(山下) 3席 山崎徹(梓)

市内一周駅伝

市内一周駅伝は1月21日15チームが参加し7区間で健闘を競いました。その結果(総合)、1位 阿農高、2位 大川徳友、3位 阿中、(青年団)1位 阿久根、2位 三笠、3位 西目でした。



ことしは明治百年

記念事業委員会発足

昭和四十三年は、元号が「明治」と改められてからちょうど百年目にあたります。

この間、わが国は、多難な内政外交上のいろいろな問題をかかえながら、近代国家建設への道を歩みつけています。

そして、わが阿久根市においても、その礎は十四・五世記の昔にさかのぼるにせよ、いま、わたくしたちが見るのできる阿久根市の礎は、ちょうど百年前に確立されたものです。

市民としての誇りと自覚を高め、即ち発展への決意を新たに、輝かしい未来への希望をこめて行ないます。

祝典は、明るく、力強く祝意に満ち、本市独自の特色を生かしたものを計画しています。

便利な公衆電話

市内五六カ所に設置

昨年十月二十九日から自動化に変わり、それとともに市内五六カ所に公衆電話が設置されました。

公衆電話は市民のみならず、またの便利をはかって設けられたものであり、自分の生活にかかすことのできないものです。

市民のみなさん公衆電話は自分のものとして大切に使用いたしましょう。

ボックスを大切に

市民のみなさん公衆電話のボックスを大切にいたしましょう。

最近市内の各所で公衆電話ボックスのガラスや、受話器などの破損がたびたびおきています。

この公衆電話を破損し、損害をあたえ、有線電気通信を妨害した場合は処罰される場合があります。

このことは、有線電気通信法からもかたく禁じられております。

市民のみなさん公衆電話は自分のものとして大切に使用いたしましょう。



郷土の明治百年人物史

(その1) 河南源兵衛根心

近代日本の夜明けといわれる明治維新の業績には勤王の志士たちの命をかけた働きだけが知られていますがその陰には、これらの志士を助かし、助けた多くの商人があったことを忘れてはなりません。その中に、郷土の豪商河南家第七代源兵衛があります。

源兵衛は本名を根心(もとなか)といい、祖先から受けついで呼び名を政助源兵衛といたしました。文政9年10月7日に生まれ、明治18年7月1日(60歳)没し、維新の当時は40歳の男ざかりでありました。

もともと河南家は、寛永の初期から250年も続いた薩摩の御用商人で、根心も祖先の家業を継いで、23反帆船(今の25トン位の船)数隻を琉球、奄美大島、大坂、江戸間に運航させ、藩命で米や黒砂糖の運送に当たっていました。そして、1年の大半を鹿児島城下町に住み、大坂や江戸に出回っていたのであります。

また、城下町での根心は、指宿の浜崎大平次、山川の河野覚兵衛、波見(申良町)の田辺覚之丞などとともに、32名におよぶ藩内御用商人の中心として信頼を集め、下町年寄(下町町長)を2回も勤める一方、浄瑠璃や俳句、絵、囲碁などにもつうじ、これらをとおして、藩役人や内外の文化人との交際も広がったのであります。

このため、国内の事情に明るく、西郷隆盛、大久保利通、松方正義をはじめ、坂本龍馬、江藤新平、桂小五郎など内外の志士と早くから交わり、物心両面にわたってこれらの志士を助け、維新の成就に力をつけた隠れた志士であったのであります。

また、根心は性質は進取の気性とさきょうめんの同めんをもち、父根綿(もとつら)にならって日記と海運に関する記録を残し、いま「河南文書」として貴重な資料となっています。

早くから文化の向上に勤め200名におよぶ従業員の慰安を兼ねて、上方から浄瑠璃芝居を招き、春や秋に上演して、郷土の文化向上にもつづいたことなど、その功績はきわめて大きいものがあります。

おくやみ(十一月分)

尻屋重子	1(辰中) 誠
小原 香	31(倉庫) ミリ子
大石 キン	85(渡船) マツエ
島中 クニ	74(渡船) 保
田中八左衛門	78(丸内)
野崎 鶴	47(高ノ口) 千クマツ
下間アノ	73(尻下) 藤 勇
浦原 松	3(飛町) 栄
清水 秀一	9(尾崎) 勝 健
若松次郎	82(尾下) モト
西田 兼太	77(高ノ口) 友吉
小島 勝子	34(栄町) 幸太郎
寺地 徳	32(大川) 和 正
三輪由合子	1(上野) 正 昭
田原 豊實	54(田代) ナカ
牛之原 美	1(大川) 琢 馬
鮮地 鶴	46(湯) タツ
鮮地新シゲ	56(新町) ヤメ子
西田助次郎	80(高ノ口) タツ子
高橋 池	33(本町) 秀子
馬見 隆夫	64(新町) ナセ
飯尾 進	49(龍町) ミシ
牟礼 隆吉	58(生之浜) キマノ
白帆 庄蔵	83(車木野) 實
上原 幸	82(栄町) 光 義
桑木タリモ	73(鹿町) 良 治
溝口タセ	94(馬之上) 不可志
石原次郎	73(六連) 誠
早水 清	85(湯之上) ハマ子
重田 ツフ	82(湯之上) 進
宮原キツノ	69(下村) 五 郎
大瀬松次郎	83(六連) チヨシ

火災・救急車は

一一九番へ